

傷病者の管理法

1 保温（傷病者の適正な体温を保つ）



○悪寒、体温低下、ショック症状を認めたときには積極的に行います。

○衣類が濡れているときは、脱がせてから毛布等で保温を行います。

2 体位の管理法

（1）体位管理の目的

○傷病者に適した体位（姿勢）を保つことは、苦痛を緩和し、症状の悪化を防ぐために有効です。

○体位を強制する必要はなく、傷病者自身が最も楽に感じる体位にして安静にします。

（2）体位の種類



ア 仰臥位（仰向け）

- ・反応がないか鈍いとき
- ・身体に多くの傷があるとき
- ・心肺蘇生法を行うのに適している



イ 回復体位

- ・傷病者を横向きに寝かせ、下あごを前に出し気道を確保します。上側の手の甲に傷病者の顔を乗せます。
- ・上側の足を約90度曲げ、仰向けにならないようにします。
- ・反応がなく「普段どおりの呼吸」をしているときや、嘔吐があるときなど、窒息防止に有効です。



ウ 半座位

- ・上体を軽く起こした状態で、呼吸困難がある場合に適しています。
- ・意識の状態が悪くなったら、仰臥位（仰向け）にします。